

令和5年度 音江中央保育園における自己評価

A:よくできている
B:ほぼできている
C:努力が必要

NO	自己評価の観点	評価 %		
		A	B	C
1	保育理念・保育方針・保育の理解について			
	①保育理念・保育所の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	75	25	0
2	食育について			
	①食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	100	0	0
	②旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	100	0	0
	③行事の種類や実施回数は適切である	100	0	0
	④調理員や栄養士の役割が明確になっているか	100	0	0
	⑤季節感のある食材に触れる機会を設けているか	100	0	0
	⑥食を通じた保護者への支援がされているか	100	0	0
	⑦除去食の提供にあたって、間違いがないよう十分に気を配っているか	100	0	0
	⑧乳幼児期の発育・発達に応じた食事の提供になっているか	0	100	0

【まとめ】

今年度はコロナ感染症が5類になったことで、行事等はほぼコロナ禍前に戻すことが出来ました。

子ども達の意欲を高めるような遊びの提供や、事故や災害時の対応マニュアルについての課題がわかり、子ども主体の保育を進めるために、子ども会議を開き、子ども自身がやりたいことを見つけて保育者がそれを実行できるようにしていきたいと思います。

特に年長児は自分たちで積極的にやりたいことを決めて物事に取り組めた事は良かったと思います。

安全対策のマニュアルでは毎月の安全対策委員会の内容をしっかり把握し、その時期に適した内容把握に努めることで一年間を通して常勤以外の職員も安全対策がわかるようにしたいと思います。

保護者支援では保護者との相談業務が少なく感じ、保護者への声掛けや、個人面談のお誘いをするなど、充実を図りたいと思います。保育者自身の体力や気力を保つことが課題となり、常勤職員の仕事内容の軽減簡素化できるところはないか、工夫を凝らし、子どもも大人たちも元気に過ごせる環境作りに努めたいと思います。保育者の専門性を高めるためにも、研修参加や園内研修で情報共有を行い、全職員が協力して地域の保育園としてニーズに応えたいと思います。